

ひとりのため
みんなのため



大洲市

№109

2014年2月号

社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲社協 検索

赤い羽根共同募金

平成25年度も赤い羽根共同募金は、たくさんの方のご協力をいただき、8,957,884円(12月13日現在)となりました。皆さまから寄せられた寄付金は、地域のお年寄りや子どもたち、障がい者等手助けを必要としている人を対象に、地域福祉推進のために役立たせていただきます。



ボーイスカウトの子どもたちがオズメッセ出入口や「福祉と健康づくり市民のつどい」会場で来店・来場者に元気よく募金を呼びかけてくれました。

今年は、肱北保育所の園児たちもオズメッセ出入口で活躍してくれました。



缶バッジガチャポンも大人気をいただきました！



平成二十五年度 ふれあい・いきいきサロン お世話人交流会開催

平成二十五年十一月十一日(月)、二十一日(木)、二十七日(水)、十二月三日(火)、十二日(木)の五日間、五会場において、「ふれあい・いきいきサロンお世話人交流会」を開催しました。

今年の交流会は、「終活の考え方」をテーマに、エンディングノートの書き方をテーマに、仏事相談アドバイザーの池永英夫先生をお迎えして、エンディングノートの意味と活用の仕方についてお話をいただきました。

エンディングノートには、遺言書と違い法的な効力はないけれど、形式や書き方にとらわれることなく、希望や考えを自由に書くことができる為、残された家族に自分なりの心の財産を残すことができ、家族へのメッセージにもなるということを優しい口調でわかりやすく話していただきました。

また、介護や終末期医療、葬儀や法事、家族に伝えたいこと等、実際にノートの項目に沿って説明していただいたので参加したお世話人さんも、わかりにくいところは先生に質問しながら、和やかな雰囲気の中行われました。

誰しも「死」について考える時、暗いイメージを持ってしまいがちですが、先生はこれまでの人生を振り返り、これからどう生きていくかを考えることで、自分らしい最期を迎える準備ができ、前向きに生きる糧にもなるということをご自身の経験談も交えてわかりやすく話してくださいました。

その後のグループワークでは、普段サロン活動をする上で、困っていること、他サロンに聞いてみたいこと等を自由に話し合い、情報交換を行いました。

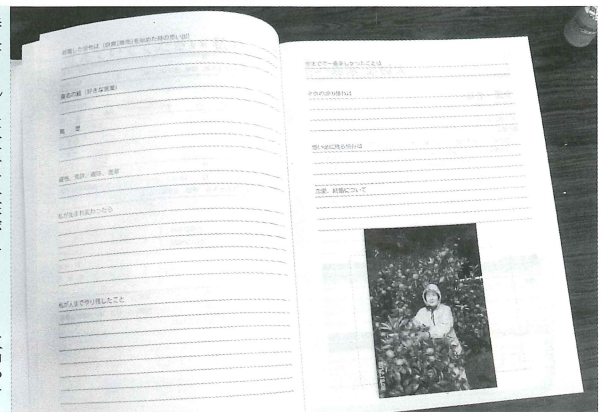
大洲市社会福祉協議会は、今後もお世話人交流会等を通して、ふれあい・いきいきサロンの活動が地域で楽しく継続していけるよう応援していきたいと思っております。
サロンについてのご質問、ご要望等ございましたら、大洲市社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。



先生が整理した過去から現在までの写真を見せていただきました。(久米会場)



貴重な先生の遺影用の写真も見せていただきました。(新谷会場)



持参された写真を実際にノートに貼って見ました。(肱川会場)



たくさんの方の参加があり、和やかな雰囲気の中行われました。(総合福祉センター)

まごころのおくりもの 11月分

金銭の部 (一般分)

石間 三千代 様 田 口
 草莽の 一 蛭 様 大洲市
 ベレッツァ南予教室
 儀 兼 勝 様 松山市

(指定分)

《久米地区社協へ》
 中川 恵美 様 阿 蔵

《喜多地区社協へ》
 石間 三千代 様 田 口

《平野地区社協へ》
 末 廣 浩治 様 平野町

《菅田地区社協へ》
 大竹獅子保存会

会長 齋藤邦男 様 菅田町
 城戸 一夫 様 菅田町

《大川保健福祉協議会へ》
 金 茂 勝子 様 蔵 川

大野 定徳 様 成 能
 久保 幸一 様 森 山

《柳沢地区社協へ》
 長尾 嘉造 様 藤 縄

《三善地区社協へ》
 片岡 昭 様 春 賀
 上甲 ナヲ子 様 春 賀

《八多喜地区社協へ》
 都 築 賢 様 米 津

《長浜地区社協へ》
 (故)土居ミキ子 様 豊 茂

《肱川地区社協へ》
 沖田 修二 様 肱川町
 井脇 俊久 様 肱川町

橋本 正明 様 肱川町
 松本 敏男 様 肱川町

《河辺地区社協へ》
 渡 邊 重男 様 河辺町
 本 田 修 様 河辺町

上久保スミ子 様 河辺町
 富 永 正明 様 河辺町

あたたかい善意をありがとう
 ございました。感謝をこめて掲
 載させていただきます。



(長浜会場)
 実際にノートに書いてみました。



各サロンの良い点、困っている点等意見を出し合い、有意義な情報交換を行いました。(長浜会場)



おめでとうございます
 これからもご活躍を!

朗読サークル「まごころ」さんが、ソロプチミスト日本財団平成二十五年度活動資金援助を受けられることに決定しました。これは、活動実績と努力されている姿勢を認められ、日本全国から推薦された団体の中から選ばれたことによるものです。これに伴い十一月十九日総合福祉センターにおいて贈呈式が行われました。また、同日、点訳サークルひとみさんもソロプチミスト大洲クラブ賞を受賞されました。

両サークルが今後ますます活躍されることをお祈りします。
 また、日頃から様々な形で大洲のがんばっている人や団体を応援してください。また、国際ソロプチミスト大洲さんにもお礼申し上げます。



贈呈式の様子

俳句ひろば

コスモスの風と揺れては遊びては
 岩本 富良

評

コスモスと風とが揺れ合いて、
 そして作者もその中に。
 いいですね。

■このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募大歓迎です。みなさんからのお待ちしております。

お問い合わせは
 大洲市社会福祉協議会
 地域福祉係まで



第9回
要約筆記サークル
オリーブ大洲
会長 中居 敏子



ここでは、大洲市でがんばっているボランティアを紹介していきます。

《どんな団体・活動ですか》

聴覚障がい者や高齢者を含む難聴の方に書いて伝える通訳をしています。福祉大会や老人大会、障がい者総会等大きな会場で講師等の話を要約しOHPやOHCでスクリーンに映したり、個人に対して通訳等でノートイク(筆談)をして医師の話を通訳したり、といった形です。話されている内容を同時進行で書いて通

《発足とあゆみ》

訳しますが全部は書けません。約二割に要約し大切な内容を書きます。現在会員数は十三名、月三回勉強会をしながら要請に応じて大洲市、八幡浜市、西予市で活動をしています。また、年一回、「補聴器相談会」も開催しています。

平成七年六月〜八月に宇和町で開かれた要約筆記講座を受講したメンバーが修了してすぐの同年八月にサークルを立ち上げました。この頃は、要約筆記ボランティアが注目され始めた時期で、この活動を大洲に広めようとしていた大洲市社協から勧められて受講したというメンバーも多かったです。

《活動の楽しみ・魅力》

活動開始にあたっては、OHPや消耗品、スクリーンといった資材をそろえる必要がありました。が、市や市社協が協力してくださったお陰で準備できスムーズに開始できました。そして設立年の「市民のついで」では早速要約筆記の設置が決まりました。また経験が浅い中、初めて大規模な会で活動したことに、その日の夜は皆集中状態から脳の緊張がなかなか解けず眠れなかつた思いがあります。

会員の仲がとても良く、勉強会で集まると皆なぜか穏やかな気持ちになります。また、福祉大会等での活動後に、

参加者が「ありがとう。」と言って帰られるころがあります。そんな時、お役に立てたと思えても嬉しくなります。更に、「こういう体験を重ねたことで、会員自身も人への感謝の気持ちを積極的に伝えるようになりました。要約筆記に限らずボランティア活動全般に言えることだと思いますが、自分たちの内面にも変化があることも楽しみです。

《今後の目標》

要約筆記の形態は、今の様な手書きに加えPC筆記も拡大しています。オリーブ大洲もそれに対応できるようにして行きたいと思っています。

また、今後也要約筆記のサービスを提供し続けるために会員を増やす努力も必要だと感じています。平成二十九年には国体・障がい者スポーツ大会が愛媛県で行われます。ここでは要約筆記者が三百名必要と言われていますが、現在県内での人数は約半数です。

読書や書くことが好きな方、子育てが終わって何かボランティアをと考えておられる方、この機会にぜひ要約筆記を始めませんか？



心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】 毎週月・水 【介護相談】 毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】 毎月第1・3火 (2月4日と2月18日) 【司法書士等法律相談】 毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時 (弁護士法律相談は正午まで) ※祝日を除く
長 浜 支 所	2月28日 (金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	2月 5日 (水) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	2月12日 (水) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
お問合せ先	本 所 TEL23-0313 (代表、弁護士相談予約) TEL23-5629 (相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510